

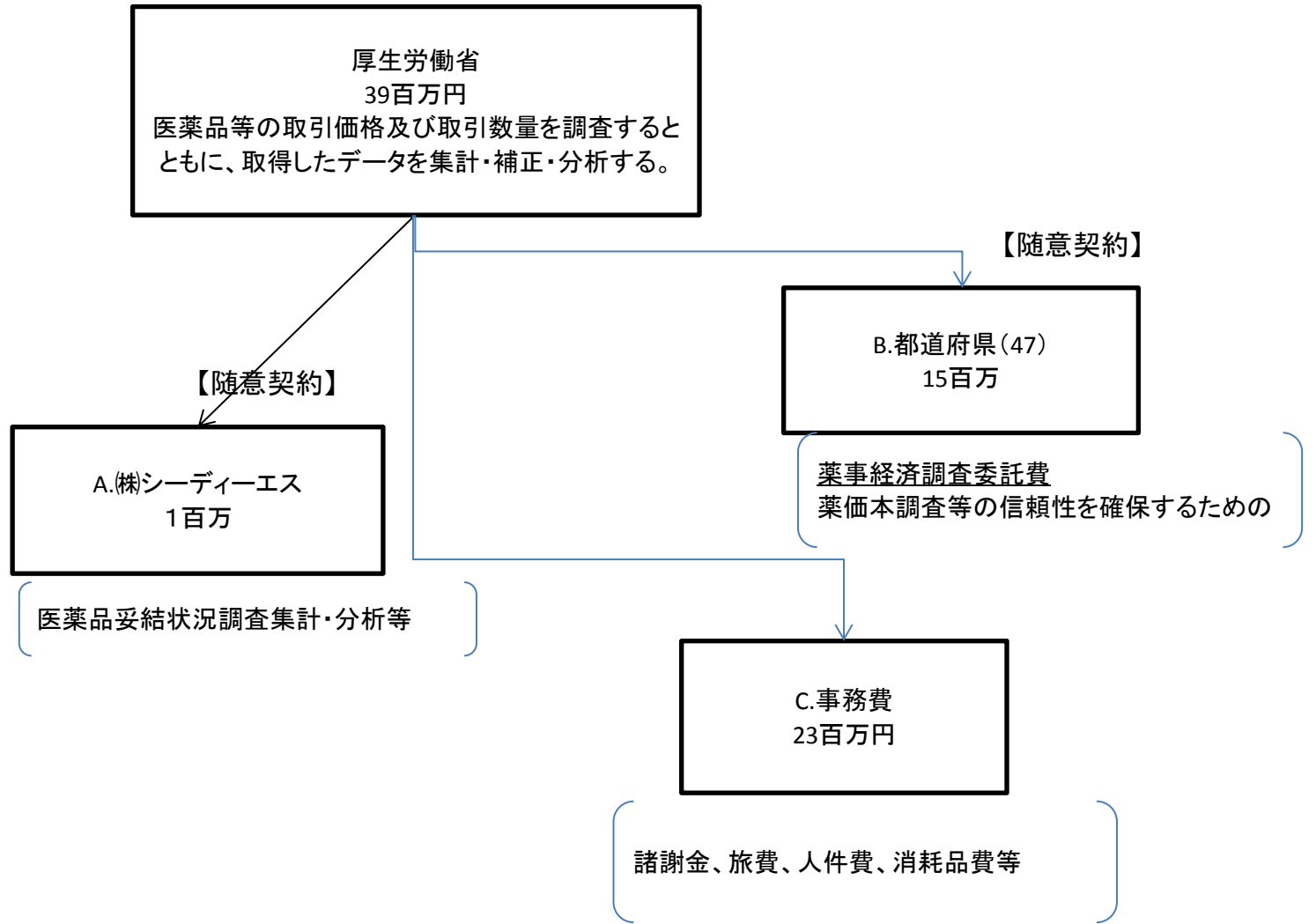
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品等価格調査費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度～	担当課室	経済課	課長: 鎌田光明			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第77条	関係する計画、通知等	<p><医薬品価格調査関係> 薬価本調査:平成21年6月10日了承「平成21年度に実施する医薬品価格調査(薬価本調査)について」 信頼性調査:平成22年2月23日医政局経済課長通知「医薬品価格調査の他計調査の実施について」 客体精密化調査:平成22年2月1日医政局経済課長通知「平成21年度客体精密化調査の実施について」 価格妥結状況調査:平成18年3月27日医政局経済課長・保険局医療課長通知「医薬品に係る取引価格の未妥結及び仮納入の是正について」 <特定保険医療材料価格調査関係> 特定保険医療材料価格本調査:平成21年6月10日了承「平成21年度に実施予定の特定保険医療材料価格調査について」 経時変動調査:平成22年10月21日付医政局経済課長通知「特定保険医療材料の他計調査の実施について」 特定保険医療材料に係る客体精密化調査:平成22年1月6日付医政局経済課長通知「平成21年度特定保険医療材料価格調査に係る調査客体精密化調査の実施について」</p>				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険法第76条第2項の規定に基づく診療報酬中の薬剤料の算定基準である「使用薬剤の薬価」(薬価基準)の改正等の基礎資料を得ること。(医薬品等の市場実勢価を把握することで、診療報酬改定時に薬価等を適正な水準に見直すことが可能となる。)						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添参照						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	157	155	154	140	132
		補正予算					
		繰越し等					
	計	157	155	154	140	132	
	執行額	81	139	39			
執行率(%)	51.6%	89.7%	25.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	医薬品・特定保険医療材料価格調査の目的は、療養の給付における薬剤に関する定めを適正なものとするために行う調査であるため、その調査の成果を定量的に示すことは困難である。	成果実績					
	達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	医薬品・特定保険医療材料価格に関する各調査の実施	活動実績 (当初見込み)		7	10	7 (8)	— (10)
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	4	4				
	職員旅費	4	4				
	医薬品審査等業務庁費	56	56				
	薬事経済調査委託費	76	68				
	計	140	132				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	22年度実績を踏まえ、不用を生じた理由を分析し、必要に応じ24年度予算要求に反映させる。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られているところではあるが、執行単価等について合理化できるところを精査し、更なる予算の効率的な執行が図られるよう努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
薬事経済調査委託費の一部の単価の見直しを行い、8百万円を削減した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)シーディーエス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務実施経費	調査結果集計・分析	0.9			
役務実施経費	入力フォーム複写(CD-RW製造)	0.2			
計		1	計		0
B.東京都			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通信運搬費	薬価本調査等に係る通信運搬費	1.4			
消耗品費	薬価本調査等に係る消耗品費	0.4			
賃金	薬価本調査等に係る賃金	0.2			
計		2	計		0
C.事務費			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務補佐員雇い上げ	8			
旅費	職員旅費	4			
諸謝金	価格調査記入者への謝金	3			
その他庁費	図書購入、消耗品費等	8			
計		23	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シーディーエス	調査結果集計・分析、入力フォーム複写(CD-RW製造)	1	随意契約	
2					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	2	随意契約	
2	大阪府	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	1	随意契約	
3	神奈川県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.6	随意契約	
4	愛知県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.6	随意契約	
5	福岡県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.5	随意契約	
6	北海道	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.5	随意契約	
7	広島県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.4	随意契約	
8	兵庫県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.4	随意契約	
9	静岡県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.4	随意契約	
10	埼玉県	医薬品信頼性、材料経時、薬価客体精密化などの調査実施	0.3	随意契約	

【事業概要】

①医薬品等価格調査費

<p>事業概要</p>	<p><医薬品価格調査関係> 【医薬品価格本調査】 薬価改定のための基礎資料を得ることを目的として実施する調査。</p> <p>【信頼性調査】 医薬品価格調査データ補完のため、立入検査方式により実施する調査。</p> <p>【客体精密化調査】 医療用医薬品価格調査の調査客体を的確に把握するために実施する調査。</p> <p>【価格妥結状況調査】 医薬品に係る取引価格の未妥結・仮納入の状況を把握するために実施する調査。</p> <p><特定保険医療材料価格調査関係> 【特定保険医療材料価格本調査】 材料価格基準改定のための基礎資料を得ることを目的として実施する調査。</p> <p>【経時変動調査】 特定保険医療材料価格調査データ補完のため、立入検査方式により実施する調査。</p> <p>【客体精密化調査】 本調査の調査客体を的確に把握するために実施する調査。</p>
-------------	---